

令和2年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 設備	①	利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか。		○		事務室を設置し、子どもの活動スペースの確保を計画しています。(伯耆)
	②	指導員の配置人数は適切であるか。	○			配置基準を十分満たしている。子どもの実態に応じた職員配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			
	④	子どもにとって危険が伴うような、施設や備品の損壊・故障などはないか。	○			
業務 改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか。	○			保護者向け評価表を活用している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか。	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による部外評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		苦情解決第三者委員会を設置している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			事業所内研修の実施及び外部研修の参加の機会を設けている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			保護者のニーズをお伺いし、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		標準化されたアセスメントツールについては検討中だが、発達検査の結果等を子どもの状況把握にいかしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め設定して支援しているか。	○			
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			支援前にはミーティングを行い、確認をしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援記録、日報に記録し、改善、検証に役立てている。

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画見直しの必要性を判断しているか。	○			
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
実践的な力量の向上	⑰	子どものことがわからないと感じた時、傍観するのではなくて、働きかけて変化を作り出し、理解しようとしているか。	○			職員間で情報共有をし、理解に努めている。
	⑱	子どものことがわからないと感じた時、独りよがりの判断をせず、他の職員に意見を聞くなどしているか。	○			
	⑲	子どもの「問題行動」に出会う時、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか。	○			
	⑳	気持ちの育ち（人格の形成）には、その子固有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか。	○			
	㉑	遊びや生活を通じて、子どもの気持ちの育ち（人格の形成）を図っていくことを意識して、子どもにも働きかけているか。	○			
	㉒	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか。	○			
	㉓	会議や研修会を定期的に行き、子どもの理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか。	○			職員会議、職員研修会、支援会議を開き子どもの理解や実践に活かしている。
	㉔	子どもの理解や実践についての、外部の研修会や講座に参加して、意識を高めようとしているか。	○			積極的に参加している。
関係機関や保護者との連携	㉕	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者もしくは子どもの状況に精通した指導員が参加している。
	㉖	学校の年間計画、行事、下校時間、送迎の方法などを確認しているか。	○			
	㉗	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか。		○		今年度はコロナの影響で参加の機会がなかったが、機会があれば参加していく。
	㉘	学校と支援会議などを行って、子どもについて意見の交換を行っているか。	○			学校との支援会議には必ず参加している。
	㉙	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか。	○			
	㉚	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相	○			支援会議や見学を行い、情報や支援を引き継いでいる。

		互理解に努めているか。				
保護者への説明責任・関係づくり	③①	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時及び変更時に説明している。
	③②	保護者との面談を行うなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか。	○			面談、送迎時、連絡帳を通じ状況を聞き取っている。
	③③	保護者から、子どものことで悩みなどの相談があった時は、懇切に応じているか。	○			
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○		今年度はコロナで実施できなかった。感染状況をみながら、来年度は年2回親子活動、および保護者会を実施していきたい。
	③⑤	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情解決体制は整備している。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか。	○			
	③⑦	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡事項等を伝えているか。	○			月1回お便りを発行している。
	③⑧	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			今年度は感染症対策で自粛をしたが、地域に積極的に出かけている。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、危機管理マニュアル、虐待防止マニュアル、防火・防災マニュアル、衛生管理マニュアルを設定し、職員や保護者に周知しているか。	○			マニュアルを作成し、随時確認できるようにしている。
	④⑪	子どもの事故やケガにつながるおそれを感じた時は、責任者に報告しているか。	○			報告及び記録をつけている。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年に3回避難訓練を実施している。
	④⑬	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	○			事業所内研修及び外部研修にて周知、徹底している。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			保護者と相談の上、対応している。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			事例集を作成し、共有している。